


自ら学び豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第10号
令和4年1月21日発行



文責 校長 小林貴英

ホームページではカラーでご覧いただけます。

臨時休校 1月14日(金)～17日(月) 御協力ありがとうございました

1月13日(金)、本校において新型コロナウイルス感染症陽性者が確認されました。それに伴い、臨時休校措置や検査実施につきまして各御家庭から多大な御協力をいただきました。ありがとうございました。

1月18日(火)から学校を再開しましたが、自宅療養が必要な生徒やその他の事情により登校していない生徒が数名おります。教職員も含めた下田中メンバー全員が揃うには、もう少し時間が必要です。その日が来ることを待ち望みながら、療養中の皆様の一日も早い快復をお祈りしています。

臨時休校明けの1週間、校内では強めの感染症対策を実施しました。3密回避はもちろん、人流を抑え、学級間の交流をできるだけ減らすことを目指しました。24日(月)からは、通常の感染症対策のなかでの教育活動を行っていきます。



給食 1年生

2・3年生は食堂で間隔を広くして。
1年生は廊下で配膳、教室で喫食。



歯磨き

学級毎に時間を区切って。
おしゃべりせずに、壁を向いて。



昼休み

急用以外は自教室の自席で過ごす。
読書、勉強、休息。人それぞれ。



昼休みの体育館 ※学年ごとに日を指定

体育授業自粛中のため、ストレス発散の時間。
ネットをはさんだ種目。活動後ラケット消毒。

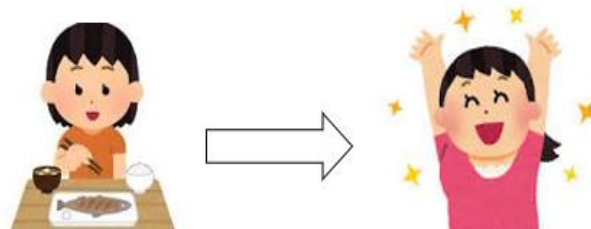
自分は何でできているのか <始業式 校長の話より>

年頭にあたり、“自分は何でできているのか”という話から始めます。

私たちの体は食べたものでできています。今日までしっかりと食べてきたことで、現在の元気な体があります。同様に、勉強したり体を鍛えたり、友達とケンカしたり協力したりしたことで、知識が増え、考え方が身に付き、自分の現在の行動につながっています。

このように、過去の積み重ねによって今の自分が存在しています。

しっかり食べたことで 元気でいられる



ニーチェというドイツの哲学者がこんな言葉を残しています。

過去が現在に影響を与えるように、未来も現在に影響を与える。

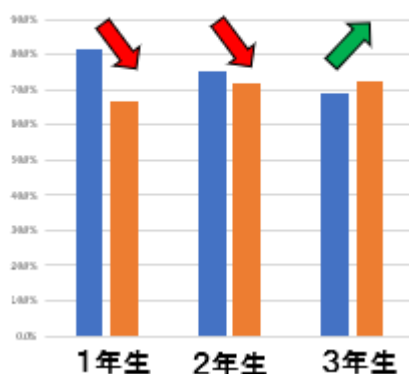
どういうことでしょうか。

2学期末に実施した学校評価アンケート結果をもとに、それについて考えてみます。

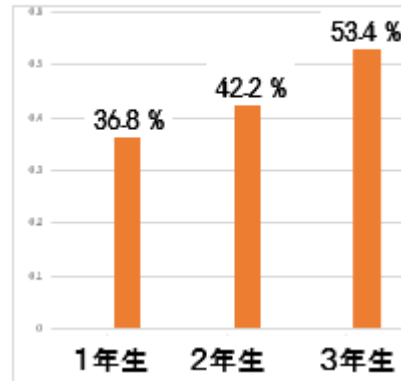
「授業が分かりやすいですか」という質問に対して「分かりやすい」という回答は、3年生だけが2学期になって上昇しています(表1)。もう一つのデータ「家庭学習をしっかりと行っているか」については、3年生がもっとも高い数値です。この二つの結果を私は次のように考えました。

「家庭学習にしっかりと取り組むことで授業がよく分かるようになり、よく分かるからもっと家で勉強するようになる。」では、この好循環がなぜ3年生に生まれるのでしょうか。それは受験に合格するという目標があるからです。

お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。



お子さんは、学年で定められた時間の学習を行っていますか。



目標をもつことで、現在の気持ちと行動にプラスの変化をもたらすようです。学習に限らず、自分の未来を描き、目標をもち、新しく始まる1年を充実させていきましょう。

保護者の皆様へ 大切なことの確認です。

- 生徒の体調が疑わしい時には、登校を控えてください。
- 生徒自身やご家族が新型コロナウイルス感染症の陽性者または濃厚接触者と確認された場合、並びに、PCR検査を受けることになった場合は、速やかに学校に報告をいただきたいと思いますようお願いいたします。